

発言内容のみ正文
発言まで発行禁止

制御された核融合に関する ITER 国際協定署名式における
ジャック・シラク共和国大統領の演説

パリ、エリゼ宮
2006年11月21日（火曜日）9時30分

欧州委員会委員長閣下、
各国大臣閣下
各国大使閣下
議員の皆様
ご列席の皆様

制御された核融合に関する ITER 国際協定署名式に際し、本日、皆様をお迎えできて、私は大変喜ばしく思っております。あらゆる意味で、特別な冒険の新しい船出であります。

特別であるその理由は、まずその科学的野心です。太陽の熱を制御し、環境にやさしいエネルギーを作ろうという挑戦です。

またその国際的規模においても特別です。北半球と南半球の7極による前例のない協力であり、心より、代表の皆様に敬意を表します。

欧州とフランスは、施設の受け入れ先として、皆様がカダラッシュを選んで下さったという名誉にとりわけ感銘を受けております。両者は、この責任をしっかりと果たして参ります。

*

我々には、課題があります。何も変わらなければ、人類は、200年間で、数億年をかけて蓄積された化石燃料のほとんどを消費し、それと同時に気候変動を引き起こしてしまうでしょう。希少な資源、そして気候の温暖化対策のために、我々の生産方法や、消費方法の大変革が必要とされています。

我々の子孫のために、エネルギー問題の解決策を準備するための研究に取り組まなければなりません。この素晴らしい変革を導くにあたり、主要科学プロジェクトである ITER は、最も革新的な計画の一つです。この計画は、連帯と責任の名の下に、未来の世代に差し延べられた手なのです。

その野心は、非常に大きなものです！核融合の制御です。一億度で生じる素晴らしいエネルギーを制御し、そのために十分耐久性のある材料を設計するものです。1リットルの海水から、1リットルの石油や1キロの石炭に相当するエネルギーを作り出すのです。

ロシアで最初のトカマクが造られてから、大きな進歩が今まで遂げられました。しかし、ITER によって、一つの段階が超えられ、30年にわたる研究が、全人類にとって有益な解決策の希望として、我々の国々にもたらされているのです。

我々全ての名において、情熱をもって、ITERを夢み、擁護し、開発してきた全ての方々、研究者、エンジニア、技師の方々に敬意を表する喜びを私は感じております。

この大型科学プロジェクトはまた、模範的な国際協力の賜物でもあります。IAEA（国際原子力機関）の保護のもと、20年にわたって遂行されてきたものです。

初めて、人類の人口の半分を占める、日本、ロシア、中国、米国、韓国、インドと欧州の7極が、巨大な科学施設を造るために力を結集するのです。

世界中の科学者達による交流と分かち合い、国際パートナーシップ、資金とノウハウの相互投入など、ITERは、何よりもまず、前世紀に痕跡を残した覇権的戦略に対する勝利なのです。

*

カダラッシュが選ばれたことは、30年前から融合プログラムを進めていた欧州の取り組みに因るものです。これらのプログラムに参加なさった全ての欧州の方々に感謝いたします。とりわけ、バローゾ委員長に御礼申し上げます。委員長なしには、可能ではありませんでした。欧州は不可欠であり、フランスがITERを招致できたのも欧州のおかげなのです！

地方自治体もまた不可欠な要素です。市町村、県議会、地方議会、この全てが、財政的にも、また科学者やその家族の受け入れという形で、このプロジェクトを支援しています。なぜなら、地方自治体は、ITERがもたらす経済効果を自覚しているからです。地方レベルでは、直接、間接で、3000人の雇用が創出され、各極でもそれぞれ、雇用が創出されることになります。

ITERはまた、先端産業、公共事業、エンジニアリングといった多くの分野に、新たな機会をもたらします。全ての企業にとって、これから行われる欧州入札または、国際入札において、機会が与えられるでしょう。プロジェクトの成功のためには、企業の参加が不可欠です。

そしてITERは、科学の結晶として、イメージ、魅力、そして科学、学術、産業のダイナミズムとして、素晴らしい影響をもたらすことでしょう。フランスは、国際社会がフランスを選んで下さったことを誇りに思い、喜ばしく思っております。それによって、フランスのチームや環境の、質と競争力が証明されたことになるからです。

ご列席の皆様

フランスは、常に、ITERの成功のために細心の注意を払い、取り組んで参ります。人類が結集して、科学、産業そして進歩を、環境に配慮した経済開発のために使って行こうという、我々の時代に課せられた挑戦に対するこの答えが、成功することを期しております。

ご清聴ありがとうございました。